

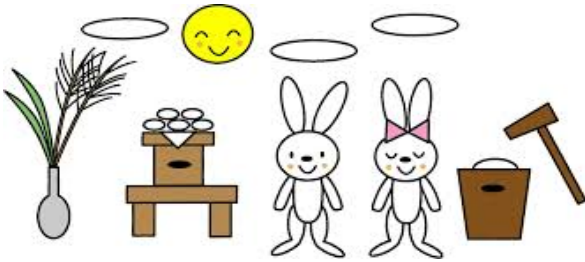
治験 NEWS

昭和大学 臨床試験支援センター・支援室

発行元：昭和大学8病院治験支援合同会議

発行責任者：小林 真一

発行年：2019年9月 第40号



治験NEWS第40号は歯科病院臨床試験支援室が担当いたします。

昭和大学歯科病院 新病院長のご紹介

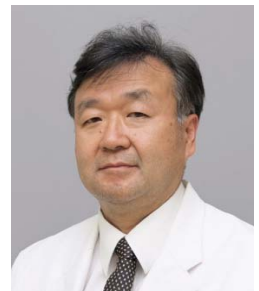
医療系の研究者にとって臨床試験は、研究成果を結実させるための非常に重要なステップです。私は本年4月まで6年間、IRBの委員長としてさまざまな臨床研究の審査に携わってきましたが、その間に我が国の臨床試験をとりまく状況は大きく変化してきました。特に平成30年4月1日施行の「臨床研究法」により審査手順が法令化され、本学にも認定臨床研究審査委員会が設置されました。こうした新たな政府の試みについては手続きの煩雑さについての指摘もありますが、重要な点は本研究法の目的が臨床研究の対象者をはじめとする国民の臨床研究に対する信頼を得ることであり、こうした信頼に支えられて初めて新たな医療を安全に国民に届けることが可能となります。チャレンジ精神を忘れず、型にはまらない柔軟なリサーチマインドを持ちながらも、定められた手続きを厳格に遵守した研究の遂行が求められています。



昭和大学歯科病院
病院長 馬場一美

昭和大学歯科病院 臨床試験支援室より

長い梅雨のあとの猛暑は今年は記録的だったそうですが、秋の到来は今年は早いようです。歯科病院では新しい局所麻酔薬の第2相試験が行われました。アルチカインという薬剤ですが、欧米ではすでにリドカイン塩酸塩に代わって最も使用されている薬剤です。本邦ではなかなか開発を引き受ける製薬会社がなく、導入が遅れていました。骨への浸透性が良いので稠密な下顎骨臼歯部への浸潤麻酔にも良い効果を得ることができます。このような良い薬が早く日本の臨床でも使われるようになることが期待されています。



臨床試験支援室
室長 飯島毅彦



昭和大学歯科病院
臨床試験支援室スタッフ一同



臨床研究倫理に関する講習会を開催しました

7月31日（水）17時30分より、歯科病院第2臨床講堂において、「臨床研究倫理に関する講習会」を開催しました。内容は「臨床研究の重要事項と最新の知見」で行われ多くの若手研究者や先生方が興味深く講演を聴講し、講演終了後にも質問される先生方が多くおられました。講演者は臨床薬理研究所の龍先生でした。



昭和大学統括研究推進センターが設置されました

本年4月より昭和大学統括研究推進センターSURAC（Showa University Research Administration Center）が設置されました。当センターの主な業務と構成。

臨床研究支援部門：臨床研究実施支援、研究倫理、利益相反、知的財産、広報業務等の業務

研究推進部門：教育研修、個別研究相談(デザイン、統計)、研究資金獲得、研究成果顕彰等の業務

研究支援事務部門：研究費等の申請、出納、管理等の業務

昭和大学統括研究推進センター

センター長：宮崎 隆

臨床研究支援部門

副センター長：小林 真一

臨床研究支援課

研究推進部門

副センター長：長谷川 毅

研究推進課

研究支援事務部門

副センター長：石崎 兼司

研究支援課

事務長：石崎 兼司

統括研究推進センター

電話：03-3784-8863

メール：surac1@ofc.showa-u.ac.jp

